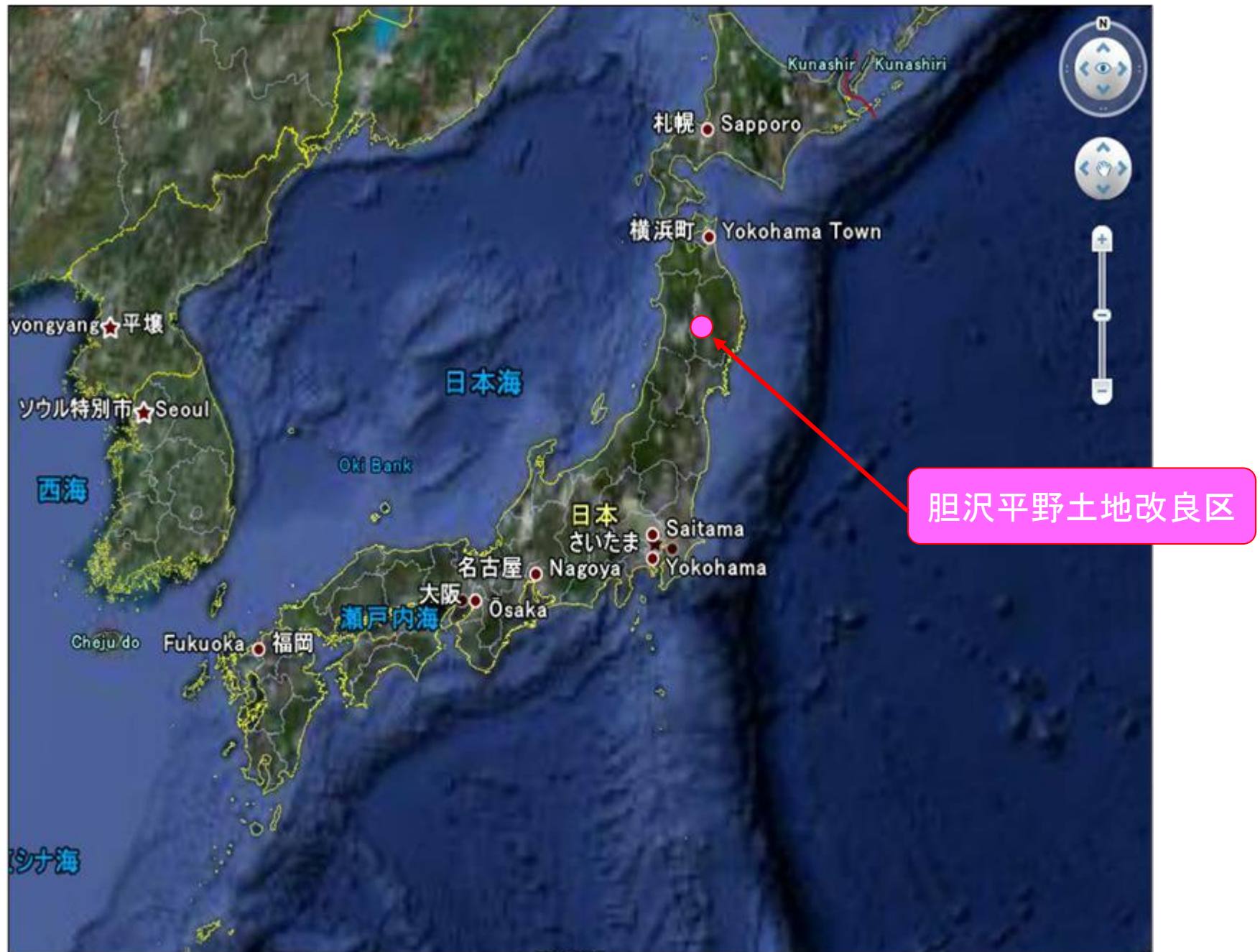


農村環境資源保全の持続的な仕組み づくりに向けた土地改良区の挑戦

～再生基本構想の実践～

胆沢平野土地改良区
理 事 長 及川正和

I. 胆沢平野土地改良区的位置



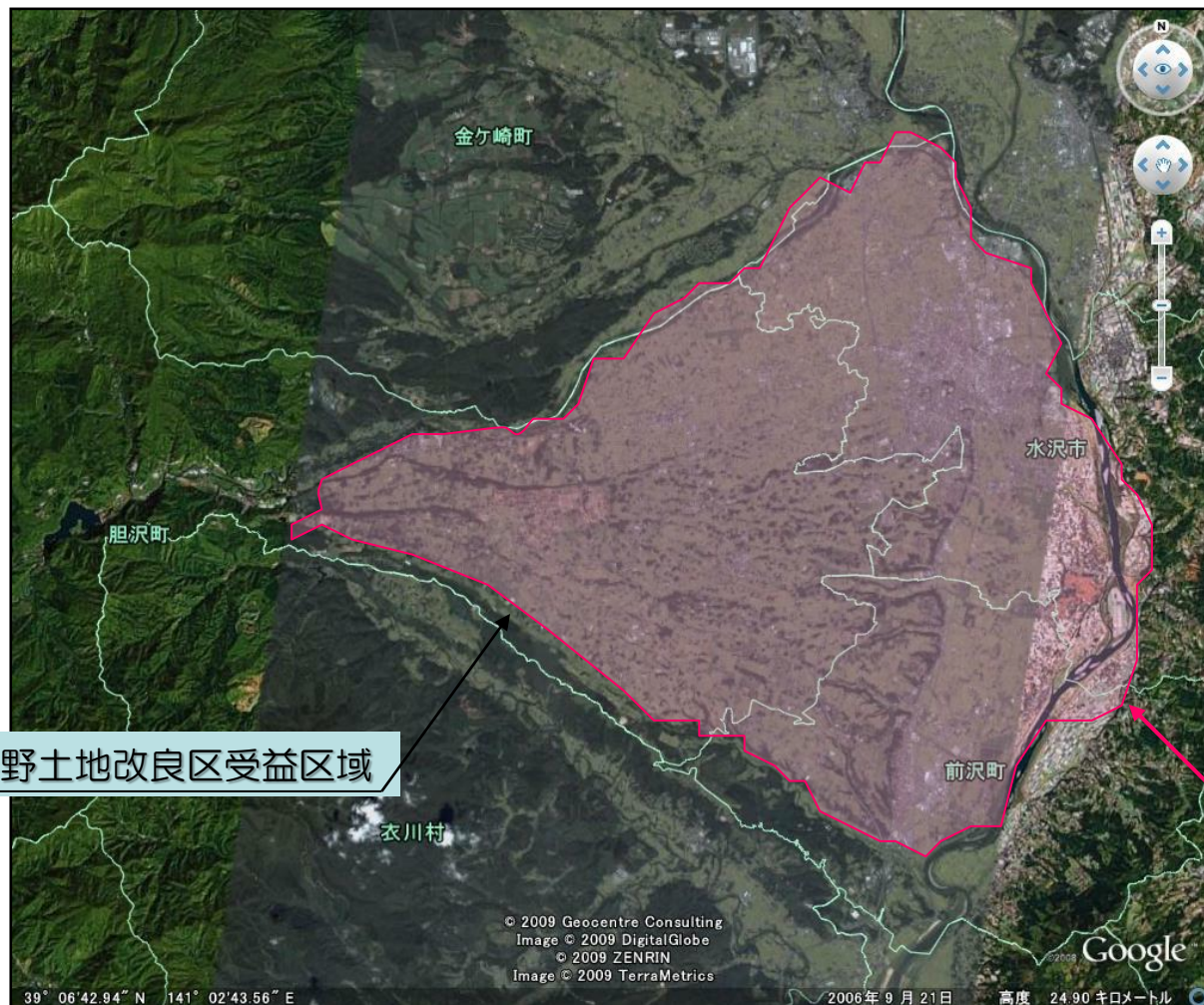
II. 東日本大震災



III. 胆沢平野土地改良区の概要

(1) 賦課面積・組合数

区 分	賦課面積 (h a)	組合数 (人)
胆沢平野土地改良区	9, 3 2 8	7, 2 3 3



①受益面積9, 328ha

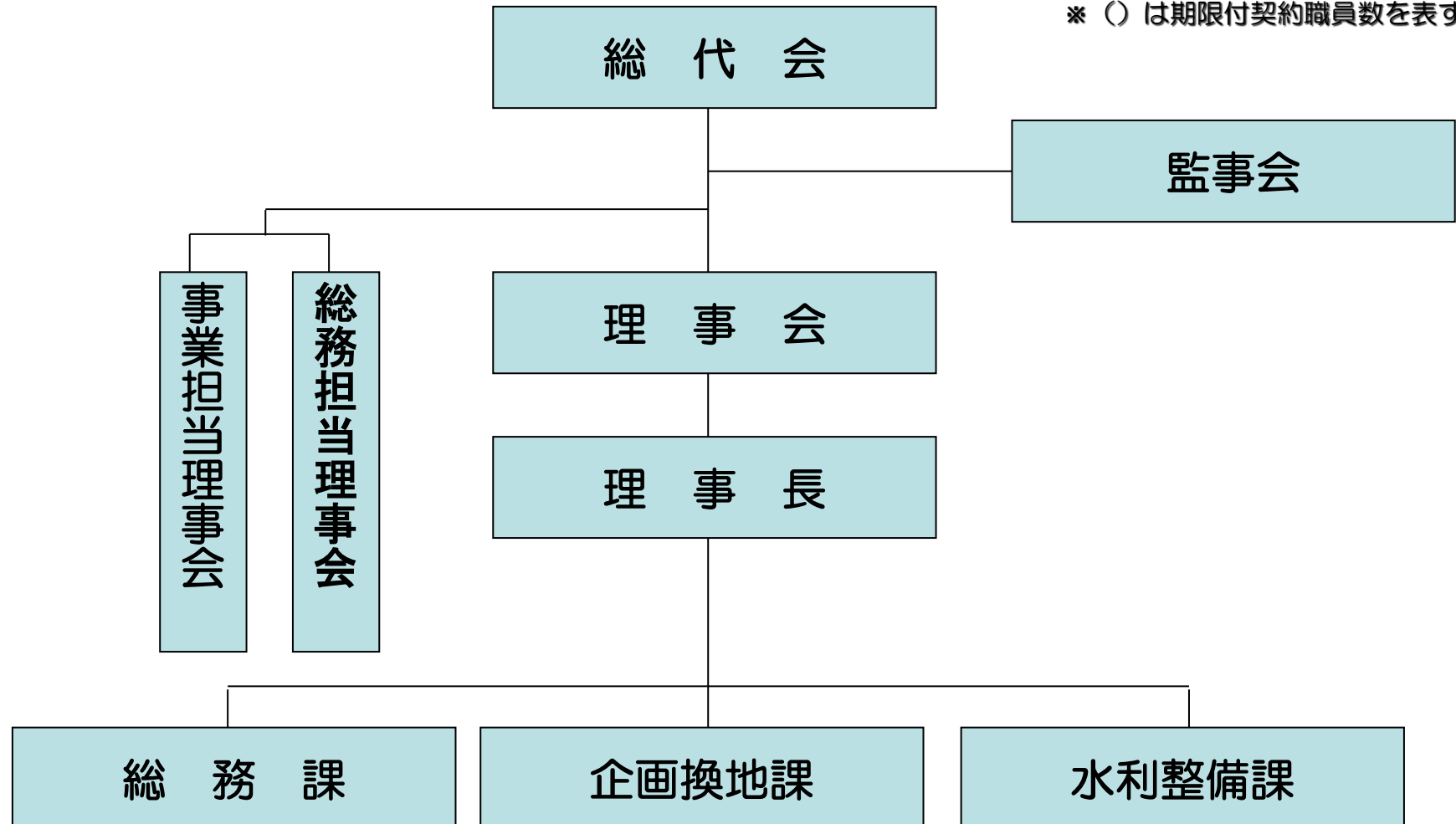
②組合数7, 233名

V.胆沢平野土地改良区の概要

(2) 胆沢平野土地改良区の組織体制

区 分	総代数 (人)	理事数 (人)	監事数 (人)	事務局職員数 (人)
胆沢平野土地改良区	77	10	3	29 (6)

※ () は期限付契約職員数を表す



III. 胆沢平野土地改良区の概要

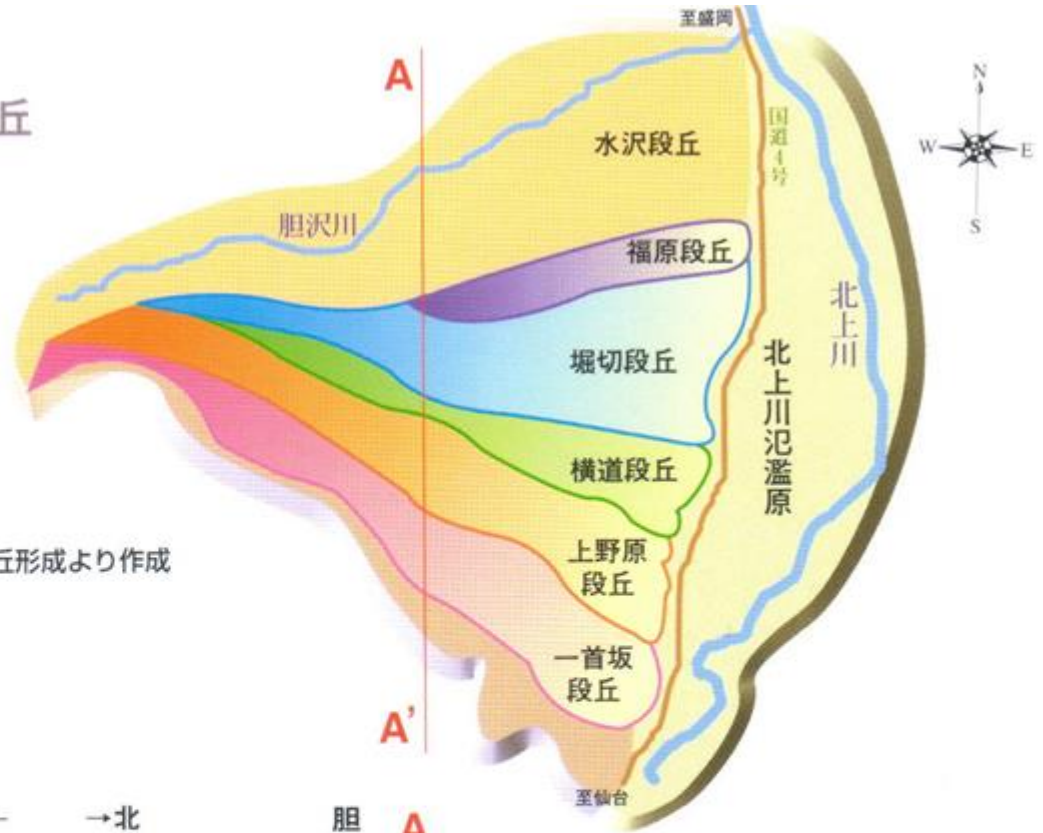
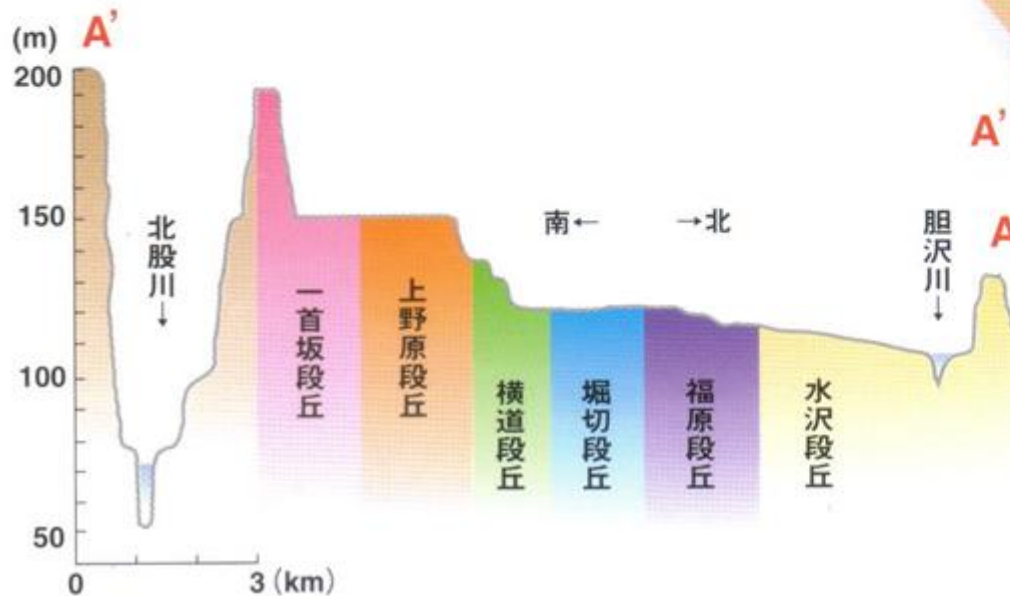
(3) 胆沢扇状地

胆沢扇状地に形成された河岸段丘

- 上位段丘／いっしゅざか一首坂段丘
■中位段丘／上野原段丘、横道段丘
堀切段丘、福原段丘
■下位段丘／水沢段丘

胆沢扇状地の断面図 (A-A')

斉藤享治(1978): 岩手県胆沢川流域における段丘形成より作成



III. 胆沢平野土地改良区の概要

(3) 胆沢扇状地



この胆沢扇状地の中には川が一本なく、生活排水は全て水路を利用している。

III. 胆沢平野土地改良区の概要

(4) 農業用水の水源である石淵ダム

昭和28年(1953年)に造成された石淵ダムが農業用水の唯一の水源



一週間、雨が降らないと底をつく
石淵ダム

III. 胆沢平野土地改良区の概要

(5)第二期国営かんがい排水事業

平成元年(1989)からの第二期国営かんがい排水事業の実施により、幹線水路の全面改修を実施



【改修前の水路の状況】



【用排分離で改修された現在の水路】



【改修前の水路の状況】



【改修された現在の水路】

III. 胆沢平野土地改良区の概要

(6) 大区画ほ場整備事業の進展

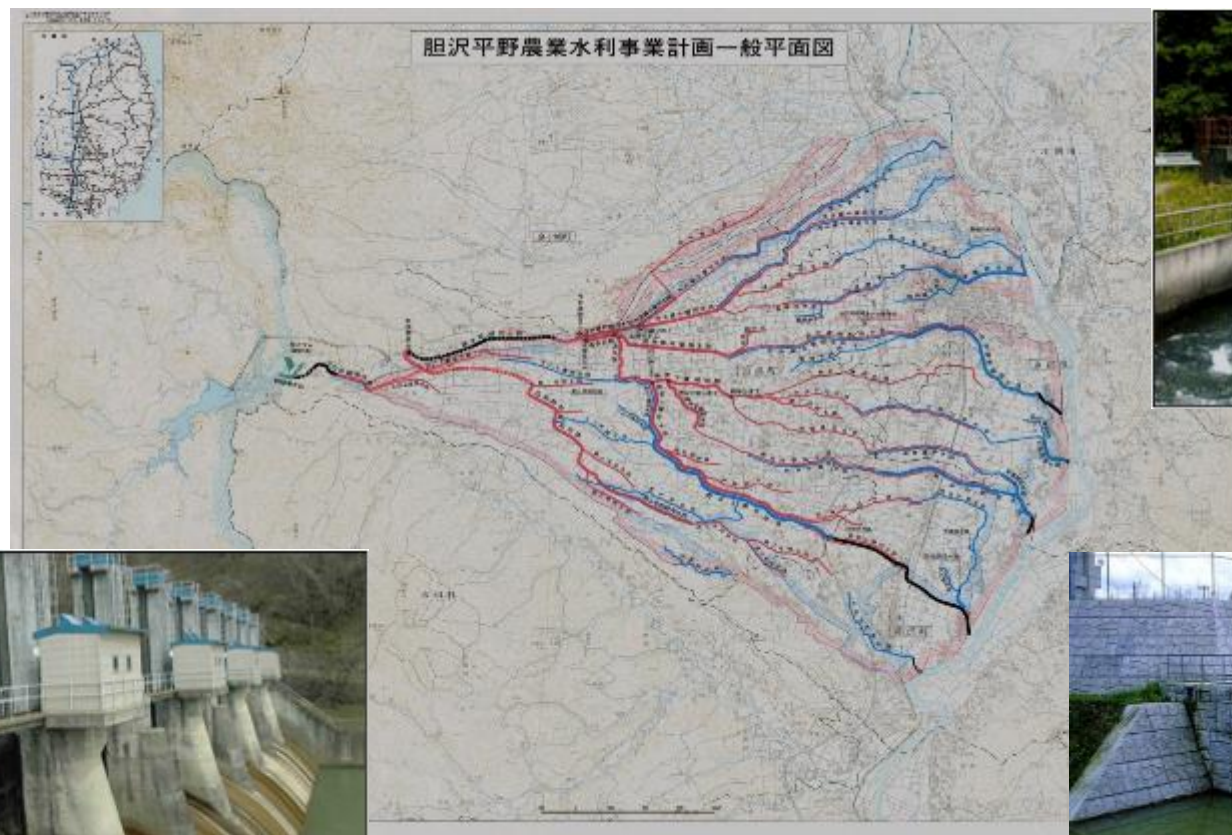
大区画ほ場整備事業(生産基盤整備)が大きく進んでいる状況



III. 胆沢平野土地改良区の概要

(7) 胆沢平野土地改良区における維持管理

土地改良区が直接管理する幹線用排水路(受益面積50ha以上)は146路線、約450kmに及びこれらの水管理・施設管理・施設修繕を実施



【分水工】



【頭首工】

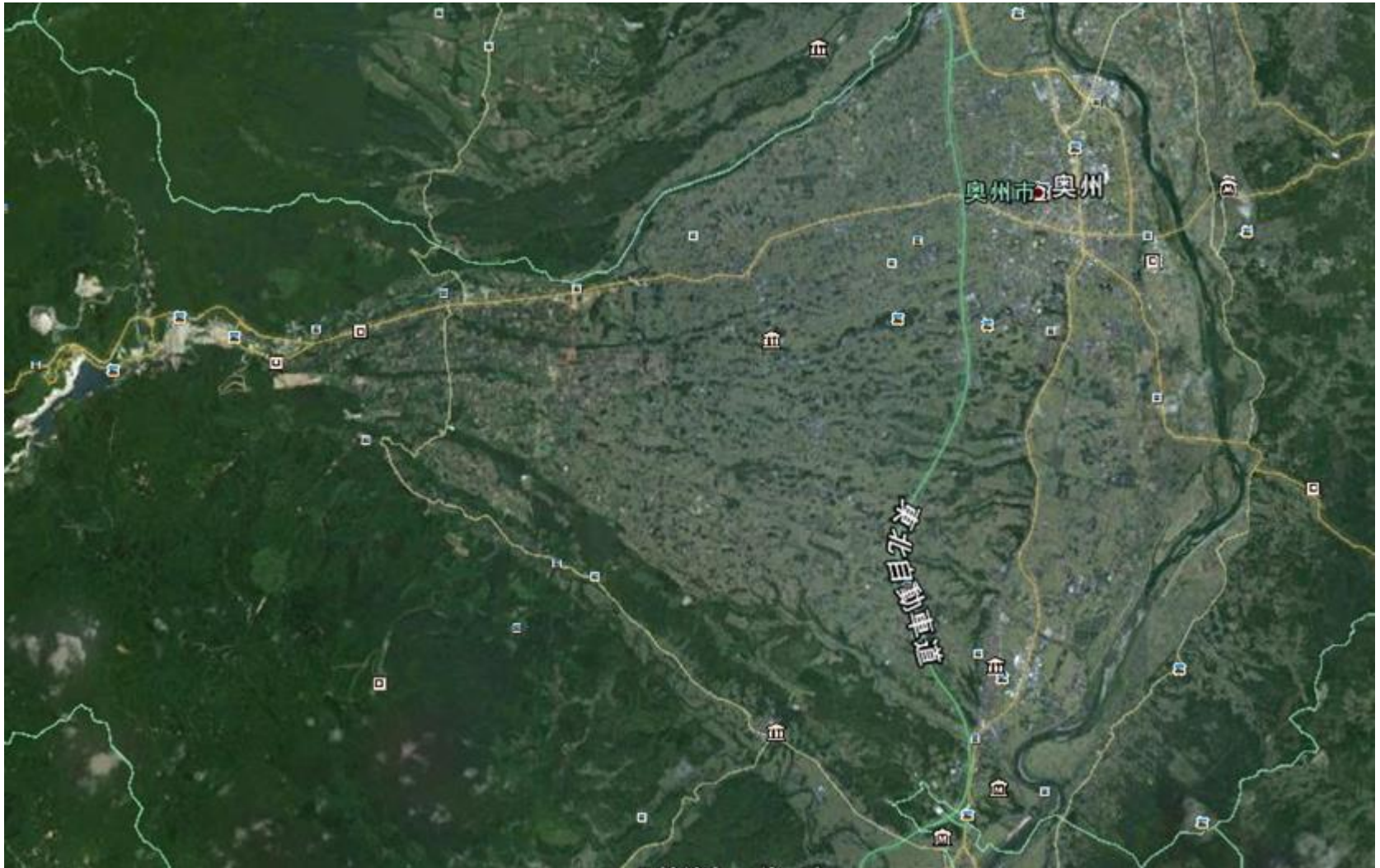


【取水口】

IV. 胆沢平野の水利開発の変遷

(1) 水陸万頃

奈良時代末期の「続日本紀」には、水と大地(陸)が豊かな広大な大地として、「水陸万頃」と記されている。



IV. 胆沢平野の水利開発の変遷

(2) 農業用水確保の水争い

平成6年の大干ばつの様子



【干上がった田んぼ】



【白割れの田んぼに消防ポンプでの散水】

IV. 胆沢平野の水利開発の変遷

(2) 水争いの歴史

番 水：農家が分水施設に張り付き昼夜にわたり水の番を実施してきた歴史



IV. 胆沢平野の水利開発の変遷③

(3) 耕土命水

円筒分水工 : 悲しくも切ない水争いの歴史を伝える分水工
「耕土命水」 : 先人達の米を作る「命の水」を求めた血の滲む努力



【昭和33年（1958）造成の円筒分水工】



【平成9年（1997）改修の現在の
円筒分水工】

V.土地改良区運営の前提条件

(1) 賦課団体としての役割

維持管理費・運営費は、土地改良法に基づき組合員(耕作者)が支払ってくれる
経費賦課金が基本。

賦課団体としての役割
(自主財源
390,730千円62.0%)

○運営費、施設の維持管理費として
一般賦課金3,100/10aを組合員
より徴収(296, 547千円45.1%)

○排水使用料、施設使用料として農
業施設の多目的使用料等を徴収
(75,353千円 13.1%)

○ほ場整備事業等の実施に伴う地元
負担金について事業償還事務の実施
(25,083千円 3.8%)

水の使用料としての賦課金は、使用水量ではなく、面積割の使用料として徴収

V.土地改良区運営の前提条件

(2) 受益団体としての役割

ほ場整備事業における換地受託業務、国営造成施設管理体制整備促進事業等の国・県から補助事業、**受託料等のその他の**収入財源。

受益団体としての役割
(依存財源
249,681千円38.0%)

○ほ場整備事業における換地受託などの受託料収入
(190,861千円 29.0%)

○国・県からの維持管理費への補助事業等の活用による補助金収入
(39,780千円 6.1%)

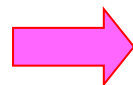
○分担金、負担金などの県、市町からの維持管理費等への負担金収入
(19,040千円 2.9%)

VI.胆沢平野土地改良区再生基本構想

(1) 胆沢平野土地改良区再生基本構想

余裕のあるうちに見直しをするのが辛抱であり、余裕がなくなってから見直しをかるのが貧乏である。これが私の再生基本構想のキャッチフレーズ。

胆沢平野土地改良区再生基本構想



平成21年4月～平成31年3月
までの10年計画



VI.胆沢平野土地改良区再生基本構想

(2) 再生の意味



河井酔茗

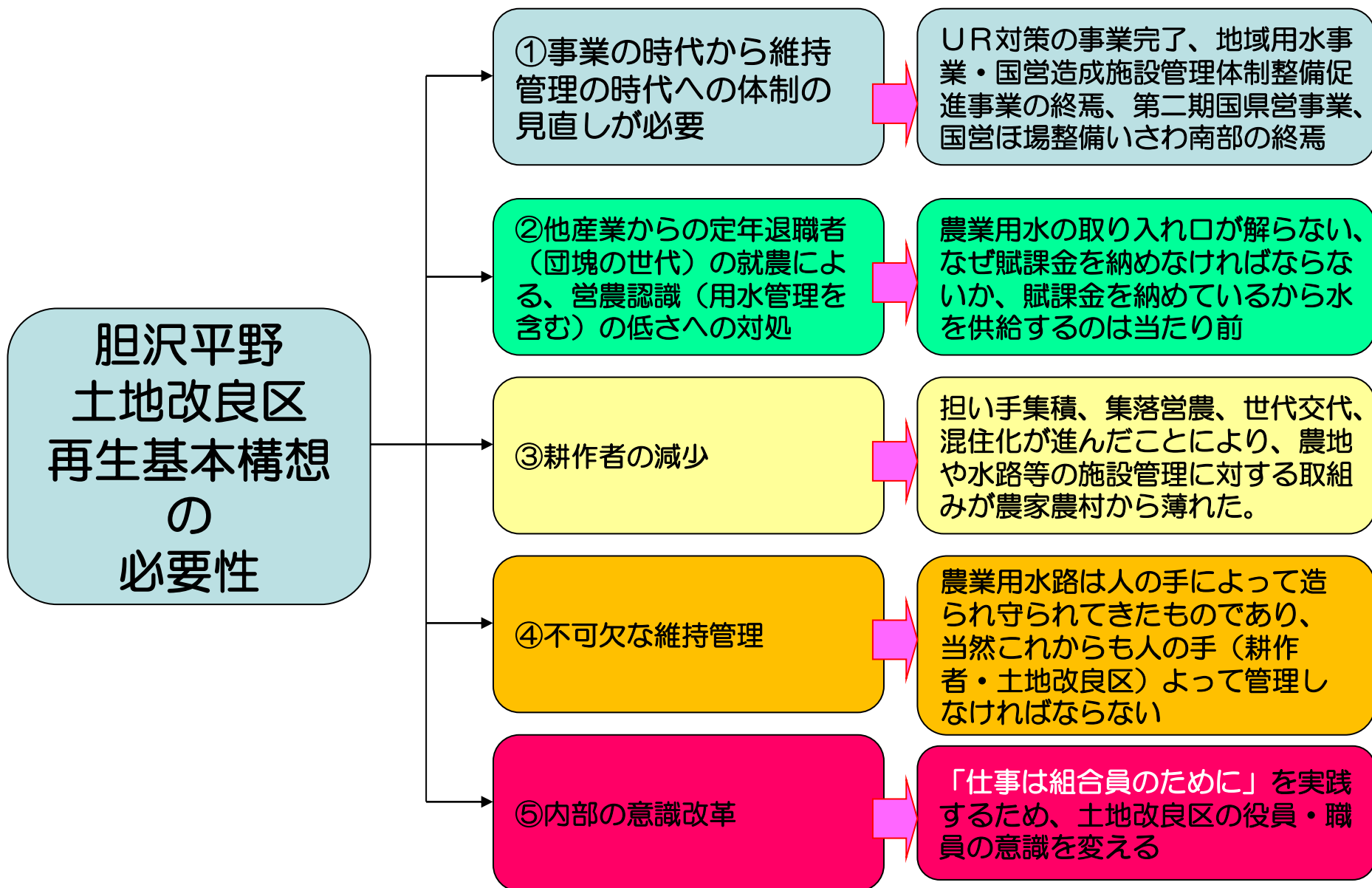
「ゆずり葉」 河井酔茗 詩
「ゆずり葉」という木は常緑高木であるが、春に新しい葉が出ると古い葉が散っていく様子が、席を譲るように見えることから名づけられた。

私ども土地改良区も、先輩諸兄の苦労の上に築かれた業績を宝として、持続的な健全運営を進める上からも、新たな時代に対処する処方箋を作成することが必要

その灯明として、この「再生」という言葉を使っている。

VI.胆沢平野土地改良区再生基本構想

(3) 胆沢平野土地改良区再生基本構想の必要性①



VI.胆沢平野土地改良区再生基本構想

再生基本構想の土台となる財政シミュレーションと、7本の柱

将来像を支える『7本の柱』

- I. 賦課金及び徴収方法のあり方
- II. 財産及び施設管理のあり方
- III. 事業導入の模索手法の検討及び事業提案の進め方
- IV. 疏水の持つ多面的機能の啓蒙活動による改良区の必要性
- V. 組合員及び地域社会とのコラボレーション(協働)のあり方
- VI. 職員のスキルアップ及びレベルアップと
クリエイティブな業務遂行
- VII. 改良区の第8次統合計画への取り組み

VI.胆沢平野土地改良区再生基本構想

情報組織として（維持管理から賦課金納入状況まで）として本土地改良区管内257の分区を一年かけて組織化



情報交換を密に行うことにより、多様な要望に即に対応できる組織機能を持つ

戸数規模	分区数	割合（％）
25戸未満	141	54.8
25戸以上50戸未満	98	38.1
50戸以上75戸未満	10	3.9
75戸以上100戸未満	4	1.6
100戸以上132戸	4	1.6
合 計	257	100.0

VI.胆沢平野土地改良区再生基本構想

市街地の人たちに水路や水辺環境保全活動に参加して頂く



VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

胆沢平野土地改良区管内は、「人の手が入った景観としての美しさ」、その美しさにより人が働いている証としての安心を感じる



VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

古来から脈々と受け継がれてきた日本の風土が、農村景観と風景を守ってきた。



「組合員及び地域社会とのコラボレーション(協働)のあり方」

VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●「拾う事」よりも「捨てない環境創り」への挑戦

水路やため池等は人がゴミを捨てなければ、耕作者も困らないし、水路管理も楽になる。また、水質も流れも、見栄えも良いものとなる。



【前沢水路 アドプト締結看板】



【巾の下水路 アドプト締結看板】

VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●「拾う事」よりも「捨てない環境創り」への挑戦

アドプト・プログラム協定の締結は36地区と協定締結を行い、全国一番の締結数となっている。



【下笹森親水公園清掃活動】



【前沢水路清掃活動】

VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●農村景観の風景は誰が守っているか？

日本三大散居集落や田園風景は素晴らしいとか美しいと言われるが、その風景は、農業の営みにより生み出される景観によって守られている。



VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●いつまで見られるこの景観？

- ①家族労働（4人の働き手）を中心とした10haの農家で、年2回の畦畔の草を刈るのは労働経費として大きな負担。
- ②70代以上の高齢者が畦畔の草を刈っているのが大半で、これから先が分らない。



政策的支援が必要となっているのが現状。

VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●天から預かりし胆沢扇状地の美しい景観保全への挑戦

人は、遠くに見える山と農家の手により綺麗に管理された農地と仕切りである畦畔の線の美しさを俯瞰したとき、心が洗われる。

農業・農村の環境資源における景観は、農家の農業の営み、生活の営みによって必然的に守られている。



VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●天から預かりし胆沢扇状地の美しい景観保全への挑戦

環境意識の高まりの中で、「ため池の保全」、「田んぼの学校」などを地域の皆さんと取り組む。



【内田ため池田んぼの学校】
昔ながらの早乙女隊衣装で田植え



【ため池の生態系保全】

VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●天から預かりし胆沢扇状地の美しい景観保全への挑戦

環境意識の高まりの中で、「ホタル水路の観察会」、「生き物調査」などを地域の皆さんと取り組む。



【生き物調査】



【ホタルのエサ(カワニナ)の放流】

VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●天から預かりし胆沢扇状地の美しい景観保全への挑戦

農地・水保全管理支払交付金などの活用と土地改良区が地域活動のコーディネーターとして取組みを展開



【花の植栽活動】



【生き物調査】

VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●天から預かりし胆沢扇状地の美しい景観保全への挑戦

春夏秋冬の田んぼや水路の景観と風景



【田んぼアート】

田んぼをキャンバスに、鬼剣舞を描いた



【胆沢平野の冬景色】

VII.農村環境資源保全に向けての胆沢平野土地改良区

再生基本構想の実践

●天から預かりし胆沢扇状地の美しい景観保全への挑戦

この地域創りは安全安心な農産物や、土着の民としての歴史や物語を伝えるグリーンツーリズムに結びついている。



【グリーンツーリズムに来た子供たち】



【8年連続全国食味ランキング
1位のひとめぼれ】



農業とともに歩む環境づくり

お わ り

胆沢ダム

石淵ダム